

## センター長だより

### 人口減少時代: 私たちは西暦 2035 年、2050 年をどう生きるか

大塚地区交流センター  
センター長 加藤秀樹  
(社会福祉士、介護福祉実務者研修)

昨年暮の12月23日付の山形新聞に2020年を基準として15年後の2035年と30年後の2050年における推定人口が発表されました。それによると、2050年の山形県の人口は2020年の約107万人から約71万人へと減少します。一方、川西町の人口は2020年の約14,000人から2035年には約10,400人に、2050年には約7,100人に減少すると予想されています。人口減少問題ははずいぶん前から議論されていたので公表された数字に驚く人はいないと思います。人口減少の解決については要素が多いため、説得力をもって説明できる人はいません。なぜなら、「人口減少は止められない」というのが大方の見方だからです。それでは、私たちは人口減少をどう捉えて2035年、2050年を迎えたらよいのでしょうか。私は、『人口が少なくても「幸福感」や「満足感」を持てる社会を築いて生きる』と考えるのですが、皆さんはどう思われるのでしょうか。そうした考えで政府や行政が舵とりをすれば自ずと人口減少は解消されるのではないかと考えます。

#### 1. 「幸福感」や「満足感」は「生活の質」を上げることで得られます

皆さんは、人口減少が進み、人口が現在のほぼ半分の7,100人となった2050年の川西町を想像できるでしょうか？日本全体が人手不足で生産が落ち、様々なサービスが低下して、不便や不都合を感じる時代となることが予想されています。そのような時代を今から嘆いても仕方ありません。嘆かなくて済む策を考えることが大切だと思います。その際のキーワードが『生活の質を上げる』ことです。医療・福祉・介護の用語としてQOL(Quality of Life、「生活の質」)があります。たとえ、病気などで介護が必要な状態になったとしても「人間らしい、自分らしい生活」を送ることを意味します。もし、2050年が嘆きの時代になるならば、少しでも不便や不都合を感じることをない「生活の質」を享受できる川西町であって欲しいものです。

#### 2. 「不便」や「不都合」とは何でしょうか

私たちが不便や不都合と感ずることとは何で、それはどう言う理由に依るのでしょうか。それ(ら)を特定し、改善し、取り除いてゆくことが生活の質を上げることに繋がります。不便や不都合の原因と考えられる生活に関係する主な項目とその理由を以下に書いてみたいと思います。

##### (1)医療・介護

日本の医療や介護は世界的にみてもトップレベルにあります。病気などで働けなくなり収入がなくなったとしても、また、生活保護を受けているとしても、病気になれば治療を受けることができます。また、介護が必要な状態になったら公的施設の特別養護老人ホームなどに入所できるのです。それは日本では社会保障制度が確立されているおかげといえるでしょう。

大塚には置賜総合病院があり、最近では個人病院も開業しました。医療機関が近くにあることで他の地区に比べて大きな「安心感」、「満足感」が得られていると考えて良いのではないのでしょうか。

## (2)福祉システム

福祉システムは、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護、後期高齢者医療を含みます。これらの福祉制度を利用するには申請をしなければなりませんので、困ったら住んでいる地域を担当する民生児童委員に相談するか、(川西町役場の福祉介護課)へ行って相談することになります。その他、妊娠出産、就学、就労、母子父子家庭が抱える問題などについては直接町役場へ出かけるか、電話をすれば、適切に対応してくれます。近年は、行政サービスは利用者ファーストで提供され、遠慮や気兼ねなく利用できるようになってきました。日本が欧米に並ぶ福祉国家だということを知っておきたいものです。

## (3)福祉に係る設備や施設

福祉に関係する設備や施設といっても幅が広く、子供にとっては、遊び場としての公園や屋内施設、教育に係る図書館など、高齢者にとっては居場所、娯楽施設、買い物や病院等への交通手段など、子育て世代にとってはママ友同士で話し合える場所や子供を預けられる施設、一般の人々にとっては個人の資質を高め、研鑽できる場(施設など)です。それでは川西町では十分でしょうか。答えは「いいえ」です。紙面の都合で詳細は書きませんがまだまだ十分とは言えないと考えますし、こうした施設や設備は町民が平等にその恩恵を受けられるべきで、川西町の7地区に満遍なく設置されることが望まれます。しかし、実際にはそうではありません。2050年まではまだ四半世紀ありますので、是非実現して欲しいものです。

## (4)食べ物と住まい

食については、1970年代から1990年代にかけて外食産業が隆盛することとなり、「飽食の時代」と呼ばれましたが、現在もそうです。日本の食品廃棄量(食品ロス)は毎年500万トンにも上り、家庭と外食産業等からほぼ半数ずつ出ていることからわかります。大塚地区ではメディカルタウンを中心に食堂の他、コンビニやスーパーマーケット、ドラッグストアが出来ています。自給のために菜園を持つと思えばそれも可能ですし、隣近所とのお付き合いで新鮮野菜をもらう機会もあるでしょう。山形県は農業県であり3世代同居が日本トップで、川西町でも戸建てが中心であり、満足できる居住面積を確保していると言えるのではないのでしょうか。

## (5)賃金

この2、3年、国(政府)は経済界と協同して働きかた改革や賃金改善策を講じています。しかし、令和5年は食品を中心に価格の高騰が顕著な年でした。結果として物価の上昇が賃金上昇を上回ることとなり、政府は政策の効果が上がらなかったことを認めています。給与の額面だけが上がっても可処分所得が上がらなければ全く意味がありません。令和6年は生活面で満足感が感じられるよう政策の効果が上がることを期待したいものです。なお、まとめの後ろの「付録」で1970年代以降の経済について触れましたので参考にしてください。

## まとめ

私たちが感じる「不便」や「不都合」の多くは社会資源の中にあります。上記では、皆さんにとって関心があると思われる5種類について評価してみました。次の表にもまとめたように、国や県、企業、個人に責任のある項目については時勢ごとに改善や進展を期待したいと思います。一方、(3)福祉に係る制度や設備・施設の項目は私たちにとって日常的で、生活に直接影響することなので満足感や幸福感と直結します。実際にはさらに細分化され、その多くが行政(川西町)に関わることであり、問題解決や課題解決には時間がかかります。それらの目標が達成されれば私たちの満足感や幸福感は増すので、川西町に経済的体力があるうちに優先的に実現しておいていただきたいものと考えます。

「不自由」や「不都合」の 原因となる考える要因	担当者(○:責任あり)				評価(○:ほぼ十分か十分、 △:課題あり、×:不十分)
	国	川西町	企業	個人	
(1)医療・介護	○				○ (ほぼ評価できる)
(2)福祉システム	○				○ (ほぼ評価できる)
(3)福祉に係る制度や設備・施設		○			× (改善の余地あり)
(4)食べ物と住まい				○	— (評価対象外)
(5)賃金			○		× (企業努力を望む)

なお、2021年11月号のセンター長だよりで「4.人口減少にどう対処するか」を書いていますので、参考ください。

【付録】近年、日本の賃金が欧米どころかシンガポールや韓国よりも低いことがわかってきました。以前から就労時間や残業時間の多さ、非正規雇用就労人口が欧米諸国に比べて多いことについては問題視されてきましたが、政府も企業もわかっていながら見て見ぬ振りをしてきました。日本では1970年中頃から1980年代にかけてドンキホーテ(1978)、コメ兵(1979)、ユニクロ(1984)、100円ショップ(1985)などが台頭し、ディスカウントショップ、リサイクルショップ時代に突入することとなりました。それらは国民に歓迎され、私たちは低賃金でも暮らしてゆける感覚をすっかり擦り込まれることとなり、低賃金時代をカモフラージュしたと言えるのではないのでしょうか。これからの私たち国民、町民に必要なことは是々非々で国や行政(川西町)、企業(勤め先)に要望することと考えますが、皆さんはどのようにお考えでしょうか。

## センター長出張、会議出席等

期間：令和5年12月1日～12月31日



### 月日時間

### 会議・出張等の名称

### 会場

12月1日(金)、9時半～11時	7地区センター長会	町役場
12月6日(水)、9時～12時	映画鑑賞・歌声喫茶	交流センター
12月7日(木)、19時～20時	ミニ雪祭り	交流センター
12月12日(月)、13時半～15時半	川西町地域づくり連絡協議会	町役場
同、16時～17時	町三役とセンター長会の話し合い	町役場
同、17時30分～	懇親会	まどか
12月14日(木)、19時～20時	教育福祉部会	交流センター
12月20日(水)、10時～11時半	まちカフェ(認知症カフェ)	生きがい交流館
12月20日(水)、13時半～15時	書道教室	交流センター
12月20日(水)、19時～20時	避難所開設マニュアル作成委員会	交流センター
12月21日(木)、9時半～10時半	筋認体操(とっとり方式体操)	交流センター
12月22日(金)、8時半～9時半	町職員との月例ミーティング	交流センター
12月24日(日)、13時半～15時	メディカルタウン基本構想検討委員会	町役場

\*上記のほか、月曜日センターで開催の百歳体操に参加しました。

## お知らせ

### 西大塚駅ホーム除雪協力募集終了

フラワー長井線を運営する山形鉄道は令和5年度の冬期間、西大塚駅ホームの除雪をお願いできる方を探していました。この度、大野自治会の船越信吾様より協力のお申し出をいただきました。お礼申し上げ、皆さんへお知らせいたします。

### 西大塚駅無料レンタル自転車冬季間休止について

今年度より、西大塚駅に無料レンタル自転車を配備しましたが、冬季間は天候に係らず管理が困難になるため、貸し出しを休止します。桜の時期前の3月中旬に再開します。何卒、ご了承ください。

## 募集中！

大塚地区交流センターでは、引き続き以下の募集を行っておりますので奮ってご応募ください。

- ・生涯学習推進員(センタースタッフ)※主にスポーツ大会運営
- ・治平館だより等の編集委員ならびに読者モニター
- ・人材バンク登録(専門的な技術や知識、特技等をお持ちの方)
- ・書道教室の生徒および世話係(準備や後片付け等)



以上については、随時受付をしております。大塚地区交流センターまで申し込み用紙に必要事項を記載し提出してください。電話やメール等で応募していただいても結構です。

## 緊急：能登半島地震 義援金募集

今年1月1日、能登半島を震源として大きな地震が発生しました。1月12日現在、石川県では関連死を含め213名の死者が出ており、約23600人が避難生活を送っておられます。遠い山形に住む私たちにできることはとりあえず日常生活に必要な物資を購入していただくための支援金を届けることです。自治会長の皆さんに集金していただきます。強制ではございませんが、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。